

元気に、お出かけしよう!!

石神井川 橋巡りmap

— 中根橋から音無橋 —



で愛・ふれ愛・たすけ愛
支え合い会議 仲宿地区



石神井川 橋巡り map

① 中根橋～仲宿人道橋まで



トイレ、簡易トイレ
の場合もあります。



水飲み場

河津桜
このあたりで
は一番最初に
咲く桜

昔、双葉町地域は根村と呼ばれていました。根村の真ん中にあるから中根橋？因みに1つ上流の橋は根村橋です。

昔は、根村用水という川があったそうです。根村用水は稲付川と呼ばれる場合もあるそうです。

ご本尊：愛染明王
山門の入り口には根村用水を渡る橋が今でも残っています。

日光曜寺

ご本尊：阿弥陀如来
中用水がお寺の山門の脇を流れていたらしい。中用水遺構石橋があります。

日光智清寺

● 史跡 縁切榎
● 俗称：榎神社

榎は、以前は道路向かい側に在りました。

いたばし総合
ボランティア
センター

「延慶本平家物語」という軍記によると、治承4年(1180年)に挙兵した源頼朝が、「武蔵国豊島ノ上滝野川ノ板橋」に布陣しています。ここに地名としての「板橋」が初めて現れ、少なくともこの資料が成立したとみられる鎌倉時代には「板橋」の地名があったことがわかります。しかし、地名発祥の由来については、はっきりした史料はなく、一般的には、中山道が石神井川を横切る地点にかけられた木の橋を「板橋」と呼んだといわれています。昔、石神井川は滝野川と呼ばれていたこともあるそうです。

昭和8年～12年
中山道の新道(国道17号)敷設工事が実施され新板橋が架橋された。

旧豊島郡時代の字名に番場という地名があった。因みにライフの裏に番場児童遊園という公園があります。

令和元年9月に命名されました。それまで名称はありませんでした。

中板橋駅

中根橋小学校

栄町児童遊園

双葉町と栄町をつなぐ橋上が双葉町、下が栄町

大正3年から昭和20年代迄この場所には「愛光舎」という牧場があったそうです。

Café kukuna



コーヒー300円

氷川つりぼり公園

開園 9:00～16:00
7～8月 8:30～16:30
以前の石神井川の流れを釣り堀公園にしました。

豊島病院

1908年(明治41年)から1910年(明治43年)までこの付近(栄町を中心に東は氷川町、西は仲町のあたり)には板橋競馬場があり、レースが行われたこともあるそうです。



板橋区
医師会館



愛染橋の正面は愛染通りがあり、近くに愛染明王をご本尊とする日曜寺があります。

西宿裏も北豊島郡時代の字名です。

愛染橋

氷川橋



氷川神社

十七号線

仲宿

板橋

日本橋から・

ふれあい橋

石神井川緑道

以前はこの様に蛇行していましたが洪水対策で川を直線にした後を緑道(公園)としました。

仲宿商店街

日光文殊院

スーパー
ライフ

仲宿13番地付近は以前、石神井川の流れを変えた跡で「げんべい池？」と呼ばれた大きな池がありました。その後埋め立てられて今の住宅地になっています。

石神井川 橋巡り map について

近隣の人々には日ごろのお散歩コース、又、花見時には川沿いの美しい桜並木を愛でながらのそぞろ歩き、いつも石神井川は身近な川です。そんな身近な川に欠かせないのが川に架かる橋の存在です。日頃は気にも留めない橋の名前の由来を楽しみながら、散歩するのは如何でしょうか？橋の由来については独断と偏見で記入したものもありますのでご容赦下さい。是非この「橋巡りMAP」を持参して、川沿いの景色を楽しみながら石神井川の橋を巡って見てください。

石神井川(しゃくじいがわ)は、流路延長25.2km、小平市花小金井南町に源を発し、王子駅の下を經由して北区堀船三丁目で隅田川に合流します。石神井川は金沢橋付近音無橋にかけて音無溪谷と呼ばれる深い谷となっていたそうです。石神井川の名称は、石神井村を流れる川だったために村の名前にちなんで呼ばれたと言われています。

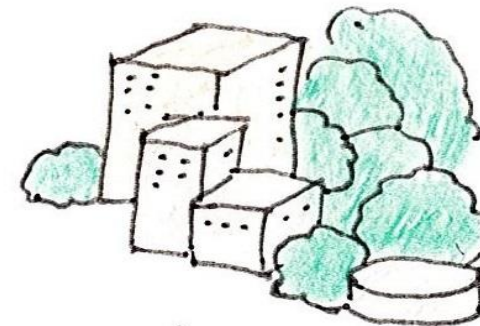
概算所要時間(徒歩)

中根橋 ⇄ 西堰橋	4分
西堰橋 ⇄ 新板橋	8分
新板橋 ⇄ 板橋	2分

② 御成橋～埼京線高架橋まで

概算所要時間（徒歩）			
板橋	⇄	御成橋	6分
御成橋	⇄	加賀二の橋	5分
加賀二の橋	⇄	みどり橋	5分
みどり橋	⇄	加賀橋	5分
加賀橋	⇄	金沢橋	5分

東京家政大学



校内に博物館があります。
月～金 9:30～16:00
土曜は 12:00 迄
生活文化に関する資料を
中心に収集・展示してい
ます。入場無料



↑ 十条駅

埼京線

↓ 板橋駅

コンビニ

帝京大学病院

校内にはコンビニや
喫茶店、レストラン
等があります。

稲荷台
おなりばし緑地

この場所は帝京大学をはじ
め、多くの教育機関が集中し
ています。因みに川沿いの通
りは加賀学園通りです。

彫刻 Silent smile
サイレント・スマイル
安田 明長 作

簡単な運動器
具の有る公園

コンビニ

愛誠病院

加賀第二公園
(運動器具があります)

緑橋

加賀親水護岸

加賀一丁目
みどりの広場

加賀公園

徽軫（ことじ）灯籠

東板橋体育館

南極の石

「国立極地研
究所」の跡地
に設置された
モニュメント

17号線

東橋

川沿いから
見た高架橋
の写真

埼京線
高架橋

スーパー
ライフ

下屋敷の入り口はこの
あたりに在ったらしい。

東板橋公園



将軍が鷹狩りに来る
ときに通るおなり道
にある橋だから御成
橋。因みに三田線の
御成門駅は、将軍が
増上寺にお参りする
ときに使う門だから
御成門。
おなり道の入り口は
スーパーライフの横
の道が入り口らしい

文殊院

スーパーライフ



旧中山道（仲宿商店街）

おなり道の入り口は
このあたりらしい。

加賀二丁目
公園
入口が判
り辛い

両岸の加賀二
丁目を繋ぐ橋

金沢小学校

老人ホーム

加賀さくらの杜
(仲宿おとしより
相談センター)

東京都水道局板橋給水所跡陸
軍の工業用水を造る専用浄水
場でしたが、戦後は一般に使
われ 1969 年(昭和 44 年)に
浄水場は廃止され、現在は災
害時の給水拠点



江戸時代、この
あたり一帯には
加賀藩前田家の
下屋敷があり、
加賀公園は屋敷
内庭園にあった
築山の跡です。



③ 谷津橋～音無橋まで

概算所要時間（徒歩）

高架橋	⇄	谷津橋	3分
谷津橋	⇄	観音橋	4分
観音橋	⇄	滝野川橋	5分
滝野川橋	⇄	もみじ橋	4分
もみじ橋	⇄	松橋	2分
松橋	⇄	音無橋	7分

寿徳寺 （じゅとくじ）



寿徳寺（じゅとくじ）は真言宗豊山派の寺院。寺伝によると、鎌倉時代、当地を訪れた武士によって本尊の観世音菩薩を安置した事に始まると言われている。本尊は谷津子育観音、幕末になり新選組、近藤勇他隊士達の菩提寺となり、近藤処刑後、境外墓地として現在板橋駅そばにある近藤の墓地の管理・及び命日における供養をしています。

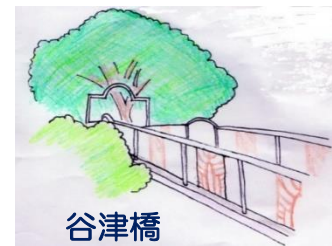
王子七滝とは、その昔、石神井川およびその用水にかかっていた滝で、弁天、不動、権現、稲荷、大工、見晴らし、名主の七つの滝の事をいいます。王子七滝は名主の滝公園にあるもの以外は現存しません。安政年間（1854～1860）に王子村の名主「畑野孫八」が自邸に開いたのが始まりで“名主の滝”の名前の由来もここから来ました。

征夷大將軍、源頼義により「関東稲荷総司」の称号を頂く。徳川將軍家代々の祈願所と定められてきた。現在の御社殿は十一代將軍家齊公により新規寄進されたもの。落語「王子の狐」の舞台。



名主の滝公園

王子稲荷神社



谷津橋

この辺の橋は欄干の模様に特徴があります。

板橋東いこいの森
川沿いの階段から登ります



音無こぶし
緑地

谷津大観音

谷津大観音は、真言宗豊山派寿徳寺で2008年に建立されました。銅製の観音像は台座を含めた高さが8.5m、重さ5t、地域の古くからの呼び名である「谷津」を冠しました。

音無くぬぎ
緑地



子供向けの「わんぱくアスレチック」があります。

千川上水の石神井川への放流口、対岸からでないと見えません。

板橋駅行



観音橋

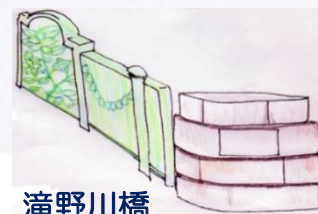
王子駅行



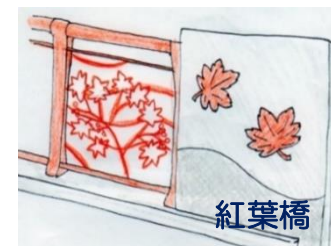
サミット衣料館
コルモピア



滝野川橋



滝野川橋



紅葉橋

板橋駅行



スーパー
サミット



紅葉橋

王子駅行

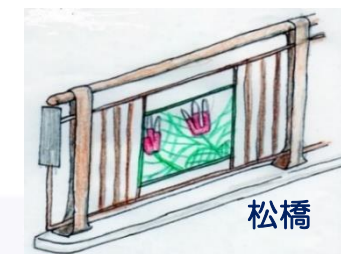


音無もみじ
緑地



金剛寺（もみじ寺）

真言宗豊山派の寺、弘法大師・空海がこの地を遊歴し自ら不動明王像を彫ったと言われている。この不動像は現在当寺院の本尊になっています。その後、平安時代末期・源頼朝の時代に源頼朝自身が当地に布陣を張り、堂宇を建立また田園を寄進したと伝えられている。従って平安時代にはすでに創建されていたことが分かる。徳川將軍八代吉宗の命により、この一帯にカエデが植樹されたそうです。春は桜、秋はもみじが美しい。



松橋

頼朝は軍勢を率いて瀧野川の松橋に陣をとったといわれます。松橋とは、当時の金剛寺の寺域を中心とする地名です。



音無さくら緑地



音無さくら緑地

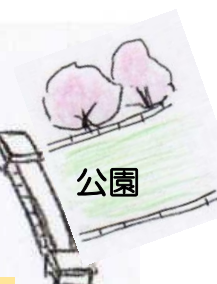
石神井川が大きく蛇行していた旧川を遊歩道として利用した緑地です。緑地内を小川が流れていて、それを渡る本格的なつり橋があります。



音無親水公園

音無の名前の由来は、八代將軍吉宗が紀州の音無川にちなんで命名したもの。

音無橋



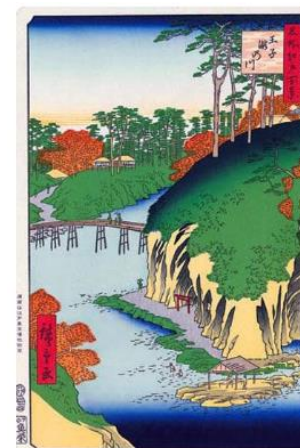
王子駅→



都電



飛鳥山



王子
滝野川

支え合い会議仲宿について

支え合い会議仲宿は仲宿地区の8町会（仲宿睦町会、宮元親興会 仲宿東町会、氷川町会、稲荷台自治会、栄町自治会、藤栄町会、JR 東日本十条社宅自治会）からの参加メンバーの他、社会福祉協議会、仲宿おとしより相談センター（地域包括センター）、おとしより保健福祉センター、等の職員が参加しています。町会からのメンバーは、介護事業者、福祉の森サロン代表、民生・児童委員、老人会員等が参加しています。

5年後、10年後、そして将来に向けて、自分たちの町をどのような地域にしたいのか？ 今、全国の市区町村で、地域における支え合い活動を「地域の視点(住民を中心とした多様な主体)」で広げてみよう！」という取り組みが始まっています。

具体的には、相談の場（健康相談等）、通いの場（地域サロン、コミュニティーカフェ等）、外出支援、家事支援、介護者支援、趣味活動、地域活動、ボランティア活動等、地域の実情に合ったサービスや社会参加の仕組みづくりやネットワークづくりを目指しています。皆様の中でメンバーとして活動したい方がいれば是非参加してみませんか。

定例会：第三火曜日 18:15～20:15 仲宿地域センター

で愛・ふれ愛・たすけ愛



支え合い 仲宿地区



地域の人がちょっと困っていること

電球の取り換え、お買い物、薬袋の受取、外出の付き添い、一緒に銀行に行って、お花の水やり、病院への付き添い、話し相手になって、部屋のお掃除、庭の草むしり、etc・・・



地域の人が、

支えてあげませんか



お問い合わせ：支え合い会議仲宿 事務局

〒173-0013 板橋区氷川町 47-9 ライオンズマンション大山氷川町 101

電話：070-2636-2275 FAX：03-5375-3312

e-mail：itabashi.sasaeai@gmail.com